

埼玉県 退職校長会 会報

題字・清水章夫

第158号

平成28年 8月

- ①～⑦ 総会報告
- ⑧ 慶祝・叙勲
美術展出品者
総会・講演会
- ⑨ 平成27年度
の国教育の日
役員名簿
- ⑩ 全連退報告
- ⑪～⑱ 一人一言
の声
新会員の声
- ⑲～⑳ 文芸 編集後記

平成二十八年度総会

越谷市・越谷コミュニティセンターにて

平成二十八年六月三日(金)



会長挨拶 (要旨)

会長 清水章夫

埼玉県退職校長会は、現在会員数約二千七百名を擁し、10支部・57班で構成されております。結成50周年を契機に、新たな発展と創造に踏み出し、県教育の振興への支援、親睦と福祉の増進に鋭意取り組み、成果を挙げてまいりました。

ところで、現在、国においては、情報化・グローバル化が急速に進展する不透明な時

代をたくましく、しなやかに生きていく人材の育成を目指し教育制度、教育内容の基盤に関わる、喫緊な教育改革が相次ぎ、今その渦中にあると受け止められ、学習指導要領の改訂が年内に告示されると伺っております。

こうしたなか、本県では平成27年「学びの改革」推進が示されるなど、先進的な教育企画による取り組みが意欲的に進められております。

一方、私共の生活の安心・安全に関わる福利・厚生についてですが、持続可能な社会保障制度の構築には、高齢者の「痛み」を伴う改革が不可欠とされております。

これらの状況を踏まえ、本

会が平成28年度に取り組む活動のうち次の3つの要点について申し上げます。

その一は

学校支援・教育要望活動の一層の活性化です

「現職・退職校長支部別教育推進協議会」を各支部のお骨折りで一層の充実を図ってまいりたいと存じます。また「学校応援団」や教育関係諸団体と連携・協力し、「地域の子供たちの安全・安心の確保」「学びを支える学校支援」などの活動の一層の推進が肝要と考えます。

要望活動については教育振興に関わる各種の意見・要望の具申を、県関係・国等に行ってまいりました。本年度も一層の充実に努めます。

その二は

会員の福利厚生活動の一層の充実です

88歳以上の会員の県会費を

免除いたし、本年度4年目と なります。

また新会員各位の再任用・再雇用については年金支給の先送りに対処し、管理職再任用制度の拡充等、校長職のキャリアを生かす場の確保などの要望活動に一層努めてまいりたいと存じます。

昨年10月には年金の一元化により私どもの共済年金が厚生年金に併合されました。また少子高齢化の急速な進行により「高齢者優遇」から「全世代対応」への転換が不可避免とされ「年金・高齢者医療・介護」等々の動向も極めて厳

しい状況となっております。こうした実態をしつかりと捉え、生活の安定・安心に資する取り組みとして、既得権の堅持と制度の健全化のため、全国組織等と連携した運動を強力に推進してまいりたいと存じます。

その三は

情報の共有による会員相互の「絆」の強化です

急速に変貌する社会情勢の中、広報部が中心となり、手作りで今年4月にホームページを開設いたしました。

この中には「支部・班の活動」のページも設けてあります。有効な活用を通し、本会の情報を全会員が共有し親睦と総意を結集した活動の展開に役立ててまいりたいと考えます。

結びに、ご来賓の皆様になんて御礼を申し上げますとともに、総会開催に当たり多大なご支援ご協力を賜りました「越谷市」ご当局並びに「埼玉葛支部退職校長会」の会員各位に、心からの御礼を申し上げます。ご参加の皆様のご健勝でのご活躍を祈念し、挨拶いたします。

